

(4/23・木) 【緊急企画】IEEJ エネルギーウェビナー

日 時： 2020 年 4 月 23 日 (木) 15:30~16:30

テーマ 『需要ショックと供給ショック下で激動する国際エネルギー情勢』

新型コロナウイルスが世界で猛威を振るい続ける中、世界経済の落ち込みは尋常でない状況となりつつあります。国際通貨基金（IMF）が先週に発表した最新の「世界経済見通し」によれば、2020 年の世界経済は、「100 年に一度の危機」と言われたリーマンショック後の水準を遙かに凌駕し、1929 年の「大恐慌」以来最大の落ち込みと見込まれています。この大幅な経済の落ち込みは、感染拡大防止のための「都市封鎖」などによる「ヒト」「モノ」の移動の制限や国際旅客・運輸需要の著しい低下と相まって、世界のエネルギー需要に甚大な影響を及ぼしつつあります。

こうしたエネルギー需要の大幅低下は、国際市場での未曾有の供給過剰をもたらし、原油価格暴落など、国際エネルギー市場・世界経済・国際政治などにおける大きな不安定要因を作り出しています。産油国であるサウジアラビアとロシアの交渉決裂による協調減産体制の崩壊・価格戦争突入を皮切りに石油供給体制は大きく揺らいでおり、指標原油 WTI の先物価格は先週、約 20 年ぶりとなる 20 ドル割れの安値を記録しました。LNG 需要の低下と LNG スポット価格の低下も深刻化しています。

今回は、弊所の常務理事で首席研究員の小山堅より、混迷を極める現在の世界のエネルギー情勢を俯瞰・整理した後、世界の石油・天然ガス・LNG 需要に関する弊所による最新分析、そして、それによる国際エネルギー市場へのインプリケーション（短期インパクトを中心にしつつ、中長期的・構造的な視点も）の提示を通じて、新型コロナウイルスのパンデミックが世界のエネルギー情勢をどのように変えているのか、どう変えつつあるのかについての考察を提供いたします。

スケジュール：

15:30~15:35 開会・イントロダクション

15:35~16:10 報 告 首席研究員 常務理事 小山 堅

16:10~16:30 質 疑 応 答

16:30 終 了